

行政改革推進本部専門委員会 会議録

1. 開催日時 平成 23 年 8 月 17 日（水）午後 2 時 00 分～午後 4 時 00 分
2. 開催場所 豊橋市役所東 41 会議室（東館 4 階）
3. 出席者 委員 3 名（石原委員長、伊藤委員、諏訪委員）
豊橋市 7 名（浅野総務部長、金田財務部長、杉浦行政課長、渡辺財政課長、古池行政課主幹、木和田行政課長補佐、田中人事課長補佐）
4. 欠席者 世羅委員
5. 傍聴者 0 名
6. 会議概要 以下のとおり

発言者	要 旨
事務局 (行政課長)	<p>定刻となりましたので、ただ今から、豊橋市行政改革推進本部専門委員会を開催させていただきます。</p> <p>この度は、公私共にご多忙の中、豊橋市行政改革推進本部専門委員会委員をお引き受けいただき誠にありがとうございます。お手元に委嘱状を用意させていただきました。</p> <p>私は、豊橋市行政改革推進本部の事務局を務めています行政課長の杉浦と申します。本日は実質第 1 回目ということで、議事に入るまでの間、私が進行を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>本委員会は、お手元の「豊橋市行政改革推進本部専門委員会設置要綱」にあります、第 1 条及び 2 条に規定していますように主に本市の行財政改革プランに関する、外部の視点からの評価・検証の仕組みの構築に向けて助言をお願いするものでございます。また、本日は経営改革プランの総括を報告させていただきますので、あわせて評価をお願い致します。それでは、ここで総務部長より一言ご挨拶申し上げます。</p>
総務部長	<p>先回は台風で専門委員会が中止となりましたので、本日は 2 回分をまとめた開催となり、委員の皆様にはご負担をおかけすることになりますが、よろしくお願い致します。</p> <p>特に外部の視点からの評価については、議会の関心も高く、後でも触れますが、「公開」、「議論が見える化」、「市民にもわかりやすい議論」という答弁をしています。</p> <p>また、他都市では事務事業評価について、いわゆる事業仕分けな</p>

発言者	要 旨
総務部長	どの外部評価を導入している事例が多く見られますが、行革から外部視点による評価を導入する例はあまりなく、先進的な取組みにしていきたいと考えておりますのでご指導のほどよろしく申し上げます。
事務局 (行政課長)	それでは、本日の次第に沿いまして議事に入りたいと存じますが、ここからの進行は委員長の石原先生に申し上げます。
石原委員長	それでは、次第の4にございます、「(1)平成23年度行政改革推進本部専門委員会の進め方(案)」について、事務局より説明をお願いします。
事務局 (行政課長)	《資料1「平成23年度行政改革推進本部専門委員会の進め方(案)」の説明》
石原委員長	それでは、この日程で進めていきたいと思えます。
石原委員長	次に「(2)豊橋市行政改革推進本部専門委員会運営要領(案)」について、事務局より説明をお願いします。
事務局 (行政課長)	《資料2「豊橋市行政改革推進本部専門委員会運営要領(案)」の説明》
石原委員長	ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見はございますか。 《意見なし》 それでは、代理者を委員長が指名することに決まりましたので、世羅委員にお願いしたいと思えます。
石原委員長	次に、(3)の「経営改革プランにおける総括の報告について」でございませう。事務局より説明をお願いします。
事務局 (行政課主幹)	《資料3「豊橋市経営改革プラン総括報告書」の説明》
石原委員長	ただいまの説明につきまして、委員お一人ずつご意見をいただきたいと思えます。

発言者	要 旨
石原委員	<p>総括表 6 p の後半 3 年間の主な成果に「総人件費の抑制に努めました」とありますが、人件費を削減することが行革でしょうか。人を減らすことで、サービスの低下や満足度の低下が心配されます。民間委託を推進していますが、そのコントロールについては問題ないのでしょうか。民間委託を推進することで生じるリスクを指摘します。</p> <p>20 p の「P F I 手法の適切な活用」については、豊橋市は多くの事業で活用しています。P F I は短期的には資金調達制度ですが、時間が経過するとそれは市民のサービスの向上につながっていくものですので、外部意見としては P F I はプラスの評価をします。</p>
石原委員	<p>25 p の「公共工事の適切な執行」については、入札監視委員会を検討しているのなら、それについて記述してみてもいいでしょうか。</p> <p>27 p の「自主財源の確保」については、受益者負担の適正化を求める前段として、徹底的なコスト削減と、利用率の向上を図ることが大事です。名古屋市はプール利用料金を上げる前に、稼働日を減らすなどをしてコストを下げ利用率を上げました。このようなプラスの連鎖で自主財源の確保が言われるといいと思います。</p>

発言者	要 旨
石原委員長	<p>専門委員会の評価検証としては、1. 行財政システム改革の推進については、外部評価としては精力的に行ったと評価します。</p> <p>2. 効果的・効率的な行政執行体制の確保については、集中改革プラン以外の項目も行っていますが、定員管理の適正化や、指定管理者制度を含めた民間委託等の負の側面を新たな課題として認識したらどうかと問題提起します。</p> <p>3. 市民とのパートナーシップの確立については、パブリックコメント・ホームページに代表される市民意見の把握方法を検討して欲しい、という3点に、各委員からの意見を加えた上で専門委員会の評価検証としたいと思います。</p>
石原委員長	<p>次に、(4)の「行財政改革プランにおける外部視点による評価・検証の手法について」でございます。事務局より説明をお願いします。</p>
事務局 (行政課長補佐)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 《資料4「行財政改革プランにおける外部視点による評価・検証の仕組みづくりに向けた専門委員からの意見（平成23年7月）」の説明》 ・ 《資料5「行財政改革プランにおける外部視点による評価・検証の手法について」の説明》 ・ 《資料6「行財政改革プランにおける進捗管理の考え方について」の説明》
石原委員長	<p>ただいまの説明につきまして、ご意見はございますか。</p>
伊藤委員	<p>行政評価は評価シートがありますが、作成が大変だという声を聞いたことがあります。その上行財政改革プランのシートを作成することになると、職員の負担が増大します。</p> <p>行政評価と行財政改革プランの進捗管理のスケジュールを比較するとほぼ同じで、共通点も多くあると思いますので、現在の業務量を増やすのではなく、行政評価シートを活用して、行財政改革プランの進捗管理ができるようにしていただきたいと思います。</p>
諏訪委員	<p>職員の負担について言えば、やはり行財政改革プランの目的を理解していないと、やらされ感が生じ、負担につながってしまいますので、「豊橋の活力の向上」のためにやっているのだということを浸透させる徹底した職員への研修が必要だと思います。</p>

発言者	要 旨
石原委員	<p>行財政改革プランの部局別行動計画は、部長の行動計画と違って概ねよいかと思しますので、4月に作られる部局の運営方針と連動できる部分があるのではないかと思います。</p> <p>あと、行財政改革プランというのは、市民サービスの提供が主な目的ですが、さらに言えば、市民サービスを提供していくときの、提供の仕方の議論と言えます。各部長は総合計画に掲げられたものはきちっとやっていかなければならないし、それを事務事業のレベルで適切に行われているのか、行政評価で進捗管理しているわけですが、それはどちらかという政策・施策の切り口であるのに対し、行財政改革プランではそれをどういうやり方で、どのように進めていったか、またそれを執行するための財源や人の数をどう整理整頓したのかという、総合政策を進めていくための戦略論でありますので、事務事業を進めるにあたり、行財政改革プランのどの戦略に沿って進めたのかというような項目を行政評価の様式に追加できれば、うまく連動できるのではないかと思います。</p> <p>また、進捗管理のタイムスケジュールについては、事務局のたたき台でよいのではないかと思います。</p>
石原委員長	<p>本日の議事は以上ですが、最後に事務局よりまとめをお願いします。</p>
事務局 (行政課長)	<p>経営改革プランについては、今日いただいた意見を参考にして、9月初旬には確定版としてお届けできればと思います。また、経営プランに対する委員の評価意見については、その後ホームページ等を通じて、公表していきたいと思います。</p> <p>行財政改革プランにおける外部視点による評価・検証の手法については、今日いただいたご意見をもとに本年度中にまとめていきたいと思います。また、市議会の総務委員会でも議論していただこうと考えております。</p>